

ろうか
 廊下と男の子


年 組 ()

「廊下を走ってはいけません。廊下を走ると、人とぶつかって、大ケガをするおそれがあります。」

全校朝会の校長先生の話聞いて、マモルは「たしかにその通りだな」と思った。急に角から人が飛び出してきて、ぶつかりかけたことがある。話によると、ぶつかって、歯が折れた人もいるらしい。

ああ、おそろしい。廊下を走るのは、絶対にダメだな。

昼休みになったので、マモルは鉄ぼうで遊ぶことにした。最近鉄棒が人気で、低学年の子も、必死でさかあがりの練習をしている。

「うわーん！」

急に、となりから泣き声が出た。

見れば、1年生らしい小さな男の子が、全身すなまみれになっていた。鼻から血を出していて、ひざもすりむいている。どうやら、さかあがりしようといきおいをつけて、手がすべって落ちたようだ。あわててマモルはかけ寄った。

「ちょっと、君、だいじょうぶ？」

「うわーん!!」

これは大ケガだ。マモルは、「すぐに保健室の先生を呼んでくるから！」とかげだした。廊下のずっと先に、保健室がある。ちょっとでも早く、保健の先生をよばなければ。廊下を走っていると、近くの先生が「廊下は、走らないよ！」と言った。

マモルは、ふと校長先生の話思い出した。

マモルは、このまま廊下を走るべきでしょうか。それとも、歩くべきでしょうか。あなたの考えと理由を書きましょう。

.....
.....

話し合っ考えたことを書きましょう。

.....
.....

